

(毎)

朝ニュースで、今シーズンの最低気温を更新しましたと聞く師走。ロングタームテストで日本全国を取材で駆け回った156SWの、1年の活躍を労って、約6000kmぶりにやっとオイル交換を行いました。

今回選んだのは、現156SWになる前の先代156SWでもお世話になったニューテック。そのニューテックがリリースするインターセプターというブランドから、NC-50(10W50)とNC-51(0W30)の2本を入れることにしました。え? どうして2本も? とお気づきのアナタ、いいところに目をつけました。実はこのインターセプター、使用エンジンに合わせてブレンドが可能なのです。

アルファ156の取説を見ますと、ウィンターシーズンへ外気温マイナス20度以下対応は5W30を奨励とありましたので、NC-50とNC-51を5:5の割合でブレンドし、5W40相当のオイルを作りました。もちろんこれでオイルシーズンOKなのですが、例えばこれが夏場だったり、もっとサーキットなどでスポーツ走行を楽しみたい……だったり、外気温が高いような条件下での使用でしたら、NC-51の割合を多くすれば、適用外気温が上がるということになります。このあたりのブレンドには、それなりのノウハウも必要ですので、お近くのニューテック販売店に相談してみてください。きっとみなさんの使用条件にあった配合を行ってくれるハズですよ。

で、このブレンド、なにがいかという、クルマの使用条件に合せたオイルを任意で作れるために、用途にあったよりエンジンに優しいオイルであるということと同時に、単なる吊るしのオイルを入れていけるのではないという満足感があります。きちんと考えてチューニングしたオイルとでもいいましょうか、JTSのエンジン特性を考慮しているという充実感があります。ニューテックの生み出すオイルの素晴らしさはこれまで何度も誌面で紹介

してきたので割愛しますが、今回もまた選んだのがニューテックであったというところが、いかにニューテックとインターセプターに信頼をおいているかの無言の証明になるでしょう。詳しいオイル紹介と交換のレポートは、下の別項をご参照ください。

さて、今回はもうひとつニュースがあります。冬支度というキーワードのもと、アルファ156SWにスタッドレスタイヤを新規導入しました。銘柄はミシュランのX-ICEで、ドライもスノーも、そしてアイスもOKというマルチパフォーマンス。編集部での長期テスト車の使い勝手を考えると、ドライがほぼ90%になるでしょうから、乾燥路面のオンロード性能は無視できません。X-ICEのうたい文句とおり、通常の使い勝手に注目ですよ。



規定量はフィルター交換時で4.4ℓになるJTSの2ℓエンジン。フィーリング報告などは次号で。 NC-50とNC-51を50:50でブレンドし、10W40の設定に調整。こうしたアレンジが可能なのも特徴。

連日今シーズンの最低気温を更新する今日このごろ。みなさんの愛車の調子、いかがでしょうか? 156SWは前回の予告どおり、エンジンオイルを交換。さらにはスタッドレスタイヤも用意して、バッチリ冬の準備を整えております。

オイル交換します **オイルは性能重視でインターセプターをチョイス。直噴のJTSユーザーは、特に銘柄選びを慎重に!**

— ユーテックのリリースするオイルは、市販の有名メーカーの同クラスオイルと並んでも、抜きんでハイテクを駆使した作りになっています。ポイントはベースオイル。ご存知のようにオイルはベースオイルに各種添加剤を混ぜて作られます。多少ベースの性能が鈍弱でも、添加剤を加えることにより、単純に性能アップが図れます。しかし、違ってくるのがここから。ベースがショボいと、当然のように耐久性に難が出来ます。以前本誌で行なったテストでは、純正オイルの5000km走行後よりも、なんと2万km走行後のインターセプターの方が極圧テストでいい結果を出していました。2万kmですよ、2万km! 純正オイルよりも4倍も走ったオイルの方が粘度も潤滑性能も高かったとは驚きです。これを見た瞬間ニューテック信者になってしまいました(笑)。ちなみに世の直噴エンジンは、構造上ノーマルエンジンよりもエンジン内にスラッジがたまりやすい傾向があるとか。ROSSO号のオイルもまさにイカスミ状態。JTSオーナーのみならず、愛車のオイル交換はこまめに行なうのがイチバンですよ。

Alfa 156 Sportwagon

TI 2.0 JTS SELESPEED



Vol.32
オイルもクルマの
チューニングパーツ。

LONG TERM TEST / MONTHLY REPORT

櫻井健一●文&写真 text & photographs by Kenichi Sakurai 篠原晃一●写真(スタジオ) photographs by Koichi Shinohara
フィアットオートジャパン/ニューテックジャパン/日本ミシュランタイヤ●協力
cooperation by FIAT AUTO JAPAN Ltd. ☎0120-779159 /
NUTEC JAPAN ☎045-628-2055 / NIHON MICHELIN TIRE CO.,LTD. ☎0276-25-4411

DATA (2005.11~2005.12)

走行距離	921.8km
消費燃料	109ℓ
平均燃費	8.4km/ℓ

タイヤ交換します **ドライもスノーもOK! 冬場のアシはミシュランのX-ICEを履きっぱなしに。**



東 京でも12月初旬に初雪が降るなど、今シーズンは何か大雪の予感が(勝手な個人的見解)。備えあれば憂いなしということで用意したのがスタッドレスタイヤ、とはいえ何回雪上を走るのか……は若干疑問であったため、選ぶ際に重視したのが、乾燥路面での性能。先月号でもご報告したように、APSテクノロジーとVシェイブパターンで乾燥路面も雪上もOKなミシュランのX-ICEを選んでみました。サイズはT純正の215/45R17サイズ。詳しい報告は次号にて。

(担)のハミダシコメント
以前、某イベントでアルファに乗る読者の方に「本当にオススメのオイルは何?」と聞かれ、個人的にですけど前置きして「ズバリ、ニューテックです」と回答。先日この方に2年ぶりで再会。「あれ以降ニューテックを使っています。大満足!」とおっしゃる。◎もウレシイです。◎



どこにでもスプレー1発! 浸透潤滑剤NC-101登場。

インターセプターの最新作、浸透潤滑剤NC-101 Osmosilです。ヒンジなど可動部分から錆の防止。さらにこれまでの浸透潤滑剤のように飛び散ったりしないので、チェーンなどにもグリスの代わりに使用可能。うれしいことに金属製の固定ネードルと広範囲対応スプレーの2アクション。もう先っぽをなくすこともありませんね。

Vシェイブパターンはまるでスポーツタイヤのよう。乾燥路面でも高グリップを発揮します。

ラグショルダーが氷や雪をガッチリ噛んで、雪上でも安心感のあるハンドリングを実現します。

